

# 令和6年度 第1学年 後期 【英語】

## 1 目標・ねらい

- (1) 英語の学習時間と学習機会を確保する。
- (2) 過去問を利用して模擬試験に対応できる学力を身に付ける。
- (3) 授業の復習をすることで学習内容を定着させる。

## 2 内容

- (ア) 模擬試験に向けた対策と試験の振り返り
- (イ) 授業の進度に応じた復習

## 3 計画

	時期	内容	
夏季補習	7月～	1学期の復習(文法と単語) 模試対策長文演習 易しめの問題から取り組む	
早朝補習	① 10月～11月 ② 1月中旬 ③ 1月下旬	① 11月模試の対策と復習 ② 1月模試の対策と復習 ③ 共通テスト 演習	授業の進度に合わせた復習
冬期補習	12月下旬	1月模試の対策と共通テスト過去問	授業の進度に合わせた復習

(受講者の実情に合わせて計画を変更する場合があります)

## 4 持ち物

辞書、コーパス 4500、総合英語 FACTBOOK

## 5 その他

授業で学んだことを演習しながら反復復習することで、着実に基礎固めをしていきましょう。ライティングやリーディングの基礎となる文法が身に着くと、驚くほど英語の力が伸びます。

# 令和6年度 第1学年 後期 【数学】

## 1 目標・ねらい

受験に対応できる力を身につける。

- (1) 補習を通して、数学を学習する上で重要な知識を定着させる。
- (2) 高度な問題に触れる機会と復習の機会を増やし、様々な回答のアプローチの仕方に触れる。
- (3) 補習を通して現時点の自分の力を試し、目標に対する自分の力をはかる。

## 2 内容

- (ア) 標準クラス…既習内容の復習と進学に向けた標準的な内容の定着を図る。  
(イ) 習熟クラス…教科書の標準から発展的な内容を学び、進学に向けた学力の定着を図る。

## 3 計画

	時期	内容
早朝補習	10月	チャート数学 I A(黄)から、主に2次関数を扱う。
	11月	この単元は高校数学の土台となる単元である。
	12月	標準クラスでは、標準的な内容を定着させ、高校数学を理解する一助とする。 習熟クラスでは、発展的な問題の演習から、さらに理解を深める。
冬期補習	12月	2学期に学習した2次関数を、より体系的に理解することを目指す。
早朝補習	1月	チャート数学 I A(黄)から、主に三角比を扱う。 図形に関わるだけでなく、数学 II の三角関数にもつながる重要な単元である。 標準クラスでは、標準問題をもとに、三角比の扱いにより慣れることを目指す。 習熟クラスでは、発展問題をもとに、より複雑な図形を分析できることを目指す。

(受講者の実情に合わせて計画を変更する場合があります)

## 4 持ち物

チャート数学 I A(黄)

## 5 その他

ふだんの授業ではなかなか扱わないような、チャートの問題に取り組むことで、大学入試問題の出題の仕方や解法のコツをつかみ、より早くやり正確に問題を解く練習を重ねていきましょう。補習で培った計算や考え方の工夫を活かして、実力の養成につなげよう。

標準クラスは、数学を基礎からしっかり学びたい人向けです。

習熟クラスは、発展問題を通して思考力を問うような問題に慣れることはもちろん、より体系的に理解することを目指す。

# 令和6年度 第1学年 後期 【国語】

## 1 目標・ねらい

- (1) 国語の学習時間と学習機会を確保する。
- (2) 演習プリントを利用して模擬試験に対応できる学力を身に付ける。
- (3) 授業の復習をすることで学習内容を定着させる。

## 2 内容

- (ア) 【古典】既習の文法問題を含む中長文問題の読解と文法の復習。
- (イ) 【現代文】論理的文章や図表の読み取りを含み課題文の読解。

## 3 計画

	時期	内容	
夏季補習	7月～	【古典】1学期に学んだ文法事項を踏まえた少し長い文章の読解 【現代文】図表を含む実用的な文章の読み取り	
早朝補習	① 10月～11月 ② 1月中旬 ③ 1月下旬	① 既習の古文文法の問題演習 ② 1月模試の対策と復習 ③ 1月模試の対策と復習	授業の進度に合わせた復習・問題演習
冬期補習	12月下旬	【古典】既習の文法事項を踏まえた 少し長い文章の読解	授業の進度に合わせた復習

(受講者の実情に合わせて計画を変更する場合があります)

## 4 持ち物

- ・ 古典文法書
- ・ 配布プリント

## 5 その他

授業では限られた時間の中で必要最低限の情報に触れている段階です。それを定着させ、実際に模擬試験等で得点する力にするためには授業だけでは十分な演習量ではないため、進学を希望する者は受講することが望ましい。演習しながら反復復習すること、1年生のうちに基礎固めをしていきましょう。

現代文も、古典と同様に授業内では扱いきれない記述問題のポイントを指導し、国語の基礎力を養います。